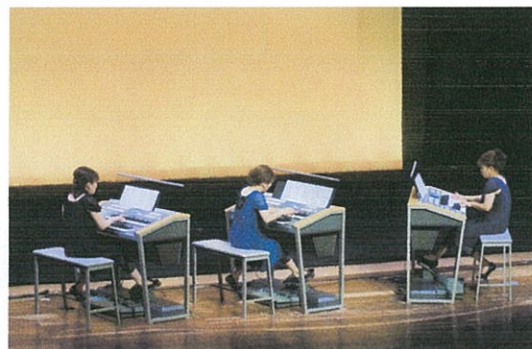


助成金使用実績報告書

助成金の使用状況を下記の通りご報告いたします。

申請者	団体名	ハーモニックアンサンブル
	代表者	八戸 契子
	住所	〒869-1112 熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北3-2-21
		電話 096-338-4227
事業名	Electone Classic Ensemble Concert ～ハーモニックアンサンブル 20th Anniversary Concert～	
実施日	平成25年8月31日(土) 14:30～16:30	
実施場所	八千代座	
助成金額	100,000円	
助成金の使途	八千代座使用料金の一部として利用いたしました。	
事業実施結果内容	<p>2013年8月31日、熊本県山鹿市の八千代座においてハーモニックアンサンブル主催、ハーモニックアンサンブル20周年記念コンサートが開催された。</p> <p>出演者はエレクトーン演奏を担当するハーモニックアンサンブルのメンバー7人の他、プログラム第1部の「赤ずきん」ではジュニアコーラスAnimato9人、ナレーター1人が加わり、第2部では指揮者1人、ソリスト4人、ハーモニックアンサンブル合唱団101人が共演した。</p> <p>プログラムは、まず第1部で音楽絵本「赤ずきん」が児童合唱団とナレーターとエレクトーンで披露。続いて、エレクトーン独奏による「赤とんぼ」と「カヴァレリア・ルスティカーナ」、エレクトーン2台による「タンホイザー序曲」、エレクトーン3台による「ワルキューレの騎行」が演奏された。</p> <p>第2部では、ベートーヴェン「交響曲第9番」第4楽章をエレクトーン3台のアンサンブルでオーケストラの役割を演じ、指揮者、ソリスト、そしてステージいっぱいの合唱団によって本格的な「第九」が演奏された。400名の入場者から感動の拍手が送られた。</p>	



事業収支報告書

収入

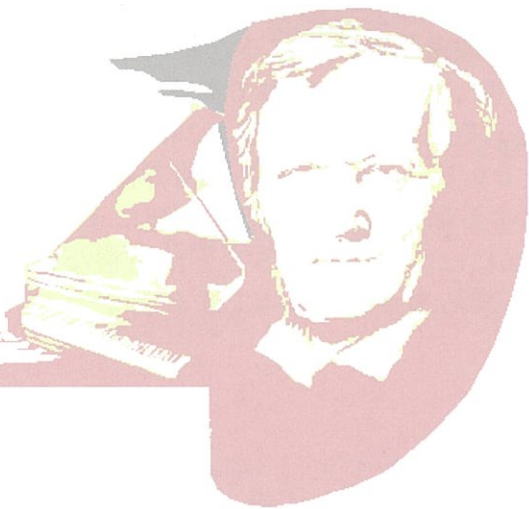
項目	金額	備考
チケット収入	791,000	一般券¥2,000×376、学生券¥1,000×39
第九合唱団実費負担金	205,500	貸切バス代、お弁当代、反省会費
広告料	40,000	¥10,000×4件
助成金	330,000	熊本放送文化振興財団、ヤマハ音楽振興会、清香会
自己負担金	98,422	
合計	1,464,922	

支出

項目	金額	備考
会場使用料	215,180	八千代座(当日、前日リハーサル)
練習会場使用料	16,450	熊本市大江公民館、熊本県立劇場
音響費	70,000	(有)サウンドミック
印刷費	57,482	プログラム、チラシ、チケット
通信費	29,280	郵送費等
楽器運送費	167,600	エレクトーン運搬
楽器借用料	130,000	エレクトーン借用
出演料	400,000	指揮者、ソリスト、メンバー
スタッフ謝礼	38,900	当日会場係への謝礼
打合せ会・反省会費	150,000	
弁当代	71,188	当日のお弁当代
指揮者・ソリスト用花束	20,000	
貸切バス代	85,000	合唱団メンバー用(熊本市内←→八千代座往復)バス2台
チケット販売手数料	400	チケット一般券2枚分手数料(¥200×2=¥400)
雑費	13,442	事務用品等
合計	1,464,922	

～ハーモニックアンサンブル 20th Anniversary Concert～

Electone Classic Ensemble Concert




■ 2013年8月31日(土) PM 2:30

■ 八千代座

- 主催：ハーモニックアンサンブル
- 後援：熊本県文化協会・熊本日日新聞社・RKK
- 助成：ヤマハ音楽振興会地域音楽活動支援・清香会・熊本放送文化振興財団

※ この公演は、ヤマハ音楽支援制度地域音楽活動支援対象コンサート、
熊本県立第一高等学校創立110周年記念第2回しらうめ芸術祭参加のコンサートです。

20周年記念演奏会をお祝いして “高邁な音楽を求めて”

熊本音楽連盟顧問 藏岡多可士 

多彩なエレクトーンアンサンブルに続くベートーヴェンの第九(終楽章)の演奏。凄いですね。このようなプログラムは滅多にお目にかかれませんが、沢山の皆さまが満足なさる演奏会だと思います。

随分古いことですが、昭和24年私が18歳の時、熊本大学フライエ・クンスト第1回演奏会で初めて第九(終楽章)を唱い、その後高名な指揮者のお手伝いをして第九に参加し、その中でも故山田一雄先生からの一言で明確でなかった第九の詩がはじめて明確にとらえることが出来た。その先生の一言とは「シラーを勉強せよ。」ということで、シラーのことの勉強でシラーが反骨の精神の持ち主で、常に道徳的自由の主張、理想主義のきびしさを、自主性を高くかかげるために戦った詩人であり、その自由の理念は、弱い人間が真善美へ努力する自由である。Freiheitこそが第九冒頭の詩であり、全体の理念である。それがベートーヴェンの言葉になる nicht diese Töne, sondern……に継がるのである。g-moll, F-dur その他それぞれの箇所でもシラーとベートーヴェンの相呼応する深みは正に詩聖と楽聖による神の音楽であり神聖なものである。浅学非才の私には第九に触れることは出来ない。本日は八千代座が素晴らしい演奏に満ちあふれるようお祈り申し上げます。

ごあいさつ

ハーモニックアンサンブル代表 八戸 契子

本日はお忙しい中、ハーモニックアンサンブル20周年記念演奏会にお越しいただきましてありがとうございます。

ハーモニックアンサンブルは1993年に発足して以来、いろいろな活動を行って参りました。その間にたくさんの方々に出会い、感動し、力を頂いてここまでたどり着くことが出来ました。本日はその出会いに「感謝」の気持ちを込めて演奏いたします。

プログラムは多岐にわたっていますが、これはハーモニックアンサンブルの軌跡とも言えます。時には子どもたちに創作の音楽絵本や楽しい歌やリトミック、時にはエレクトーンソロ演奏やピアノとの協奏を含めた大曲、合唱との共演、またクラシック音楽に留まらずジャズやフュージョン……と、いろいろな形態でジャンルにとらわれない幅広い演奏を行って参りました。今回はこの八千代座の空間での「和」と「洋」の融合をお楽しみ頂ければ幸いです。

世の中は不幸な出来事が後を絶ちませんが、私たちはなかなか手助けが出来ません。せめて毎日のレッスンや演奏で、次代を担う子どもたちや周りの皆さまに音楽の楽しさ、すばらしさを伝え、豊かな心を身につけて欲しいと願っております。

最後になりましたが、このコンサートを開催するにあたり、ヤマハ音楽振興会、熊本放送文化振興財団、第一高等学校同窓会「清香会」からご助成を頂き、誠にありがとうございました。また、合唱出演など、ご支援、ご協力頂きました皆さまに深く御礼申し上げます。

Program

- 音楽絵本「赤ずきん」 …………… 松本由紀子
El. 松本由紀子
Chor. ジュニアコーラス Animato
NA. 田中 広美
- エレクトーンによる日本の名曲より
赤とんぼ …………… 山田 耕筈
El. 廣瀬 孝子
- 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より
間奏曲 …………… マスカーニ
El. 廣瀬 孝子
- 歌劇「タンホイザー」より
序曲 …………… ワーグナー
El. 高島 朱美
井手 美紀
Arr. by 青柳 知子
- 楽劇「ワルキューレ」より
ワルキューレの騎行 …………… ワーグナー
El. 高島 朱美
松本由紀子
井手 美紀
Arr. by 高島 朱美
- ～ 休 憩 ～
- 交響曲第9番「合唱付き」より
第4楽章 …………… ベートーヴェン
Cond. 吉永 誠吾
Solo. 村橋 和子 (Soprano)
岩佐 銘江 (Alto)
岩本 識 (Tenor)
八戸 和男 (Bariton)
Chor. ハーモニックアンサンブル合唱団
El. 八戸 契子
墨田貴代子
千綿 俊司
Arr. by 八戸 契子

曲 ◆ 目 ◆ 解 ◆ 説

■ 音楽絵本「赤ずきん」

松本 由紀子

あるところに、『赤ずきん』という女の子がいました。赤ずきんはお母さんから、森に住んでいるおばあさんにパンとジャムを届けるように頼まれました。

♪焼きたてパンと、あまいイチゴジャム ～

歌を歌いながら元気よく出発するのですが、森には悪いオオカミが・・・。

数年前に保育園や幼稚園でのミニコンサート“おとのびつくりばこ”のために作った作品を、今回は可愛らしい歌声とナレーションと共に、バージョンアップでお送りいたします。

■ エレクトーンによる日本の名曲より 赤とんぼ

山田 耕筈

三木露風の詩に、山田耕筈が1927年に作曲。今も幅広い年代によく知られ、唱われる曲です。温かく懐かしい感じのこの曲を、今回はストリングスオーケストラの編曲で演奏します。

■ 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲

マスカーニ

この曲は1890年、イタリアの作曲家マスカーニの代表作です。美しく優しい旋律が印象的なこの曲は元々オペラの間奏曲ですが、現在では単独で演奏されることも多く、映画やテレビコマーシャルなどで一度は耳にする曲です。

■ 歌劇「タンホイザー」より 序曲

ワーグナー

曲は歌劇の中の重要な要素を表す主題を中心に3部形式で構成されており、物語全体を圧縮しているとも言えます。管楽器から始まる「巡礼の合唱」は次第にトゥッティへと高揚。巡礼が遠ざかると弦による「快樂の動機～誘惑の呼び声～誘惑の呼び声」。「ヴェーヌスを讃える歌」の強奏で高揚すると、陶酔が冷めて再び「巡礼の合唱」が流れ、それは次第に力を増していきます。最後はトゥッティでこの旋律が繰り返され、力強い主和音の強奏で終止符が打たれます。

■ 楽劇「ワルキューレ」より ワルキューレの騎行

ワーグナー

楽劇「ワルキューレ」はリヒャルト・ワーグナーの大規模な四連作「ニーベルングの指輪」（1874年完成）の第2編にあたり、ワルキューレの騎行は第3幕への前奏曲です。

ワルキューレとは戦没勇士を天界城へ連れて行く9人の若い女神達のことで、世界中の戦場から地上の英雄を捜し出し、連れてくるという役割です。冒頭の木管楽器の細かい音は、空中を馬が疾走する様子を描いています。

■ 交響曲第9番「合唱付き」より 第4楽章

ベートーヴェン

ベートーヴェン最後の交響曲は紛れもなく「人類最高の芸術作品」とも言える傑作です。第1楽章から第4楽章までの大規模な編成や1時間を超える長大な演奏時間、それまでの交響曲ではほとんど使用されなかったティンパニ以外の打楽器（シンバル、トライアングルなど）の使用、独唱や混声合唱の導入など、それ以前の交響曲に常識を打ち破った大胆な要素を持っています。

第4楽章は独唱および合唱を伴ったオーケストレーションで、歌詞にはシラーの詩「歓喜に寄す」が用いられ、その主題は「歓喜の歌」として日本人によく親しまれています。

今回はこの壮大なオーケストラの各楽器の音色を忠実に表現するよう、エレクトーン3台用に編曲しました。